

令和元年度東京都多摩地域公立図書館大会開催要項

『地域に働きかける図書館 ～「2020」その先に～』

1 趣 旨

人口減少の更なる進行や人生100年時代が到来する中で、図書館に期待されるものは何でしょうか。それほど遠くない未来に、多摩地域の市町村すべてが人口減少、超高齢化に向かいます。そのような状況の中、図書館は適切な資料提供などを通じて、あらゆる世代が自分自身の成長や自己実現、楽しみのために学び続けられること、また、健康づくり、医療、防災など、生活していくうえでの様々な課題解決に向けた情報や活動の拠点としての役割を果たすことが求められています。

本大会は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される節目の年に、さらにその先を見据えてこれからの多摩地域の図書館の役割とは何か、図書館職員、市民が共に考える場としていきたいと考えています。多くの方のご参加をお待ちしています。

- 2 主 催 東京都市町村立図書館長協議会
- 3 後 援 東京都市教育長会、東京都西多摩郡町村教育長会、
公益社団法人日本図書館協会
- 4 会 期 令和2年1月28日（火）～30日（木）
- 5 会 場 東京都立多摩図書館 2階セミナールーム

東京都国分寺市泉町2-2-26

JR中央線・武蔵野線：「西国分寺」駅南口徒歩7分

京王バス：寺83系統・寺85系統「いずみプラザ前」下車、徒歩5分

ぶんバス：万葉けやきルート「西国分寺駅東」下車、徒歩4分



- 6 対 象 図書館職員及び一般の方（全講演に手話通訳が付きます）
- 7 参加費 無 料
- 8 申込方法 一般の方は、当日直接会場へ。
図書館職員、図書館協議会委員及び読書団体関係者等については、各図書館で参加希望者を取りまとめ、大会事務局へEメールにて事前申込みとする。
- 9 受付期間 令和2年1月14日（火）まで
- 10 問い合わせ 東京都多摩地域公立図書館大会実行委員会事務局
武蔵野市立中央図書館（担当：鎌田）
TEL：0422-51-5145 / FAX：0422-51-9317
Mail：LB-CHUUOU@city.musashino.lg.jp

当日の講師及び講演要旨は裏面をご覧ください。

第1日目 1月28日(火) 午前の部 9:30受付 / 10:00開会式 / 午後の部 13:30受付

10:00	<p>第1分科会 館長協議会 『公共図書館にとっての地域資料をあらためて考える』 講師：岡本 真 氏 (アカデミック・リソース・ガイド株式会社 代表取締役)</p> <p>あらためて公立図書館のあり方が注目されるようになり、話題の新館の登場も相次いでいる。交流や賑わいというキーワードが取りざたされているが、図書館の基本的な役割である資料の収集・整理・提供・保存という観点から、この機にあらためて地域資料のあり方を検討したい。特に「提供」という機能の陰で見過ごされがちな「活用」の観点を掘り下げる。この観点からあわせてデジタル化やオープンデータ化も議論したい。</p>
12:00	
14:00	<p>第2分科会 三多摩地域資料研究会 『地域資料サービスの現状と展望』 講師：蛭田 廣一 氏 (日本図書館協会専務理事)</p> <p>1999年に『地域資料入門』(図書館員選書)が刊行されて20年。この間、21世紀に入り図書館のあり方が変化し、従来のサービスに加え課題解決支援機能の充実、地域特有の資料収集などが求められるようになった。そうした状況を踏まえ、あらためて地域の情報拠点である公立図書館が地域資料を収集・提供することの大切さを、『地域資料サービスの実践』(日本図書館協会 2019)の作成経過、内容構成を概説し、今後の展望を述べる。</p>
16:00	

第2日目 1月29日(水) 午前の部 9:30受付 / 午後の部 13:30受付

10:00	<p>第3分科会 協力担当者会 『図書館リソース共有方法の変化と今後の展望』 講師：松本 直樹 氏 (慶應義塾大学 文学部 准教授)</p> <p>近年、相互貸借に代表される図書館のリソース共有については、資料の電子化等の影響もあり、変化が見られる。本分科会では、国内の公立図書館、さらには他の館種の状況を含めて現状および先進的取組などを概観する。また、海外の状況についても整理した上で、今後の相互貸借のあり方について展望する。</p>
12:00	
14:00	<p>第4分科会 図書館サービス研究会 『図書館の危機管理』 講師：中沢 孝之 氏 (白河市立図書館 主幹兼副館長)</p> <p>図書館は年齢性別を問わず、誰でも自由に利用できる開かれた公共施設である。しかし、近年、その多様性ゆえに利用者による様々なトラブルや危機に見舞われるケースが増加している。また、地球温暖化の影響と思われる自然災害等予測を超えた事態も多発している。被害に遭わないために、また最小限度に抑えるために、予測できないことを予想する習慣をつけることはとても大切である。図書館で働く人、図書館を利用する人、それぞれが危機管理について考える場とする。</p>
16:00	

第3日目 1月30日(木) 午前の部 9:30受付 / 午後の部 13:30受付

10:00	<p>第5分科会 障がい者サービス研究会 『読書バリアフリー法の概要と今後の展開』 講師：野口 武悟 氏 (専修大学 文学部 教授)</p> <p>2019年6月21日の衆院本会議にて「読書バリアフリー法」が可決・成立した。視覚等の障害の有無に関わらず、全ての方が等しく読書を通じて文字・活字文化からの恩恵を受けられる社会の実現を目的に、読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進することを目指す法律である。今後障害者サービスに大きく関わるこの法律についての概要や今後の展開から、多摩地域の公立図書館における障害者サービスのこれからを考える機会とする。</p>
12:00	
14:00	<p>第6分科会 児童サービス研究会 『ともに生きるために ～本をとおして伝えたいこと～』 講師：大塚 敦子 氏 (ノンフィクション・写真絵本作家)</p> <p>これまで取り組んできた「生と死」「戦争と平和」「人と動物の絆」の3つのテーマを柱に、本をとおして子どもや大人に伝えたいことは何なのか、著書の執筆過程や内外での取材経験などから語る。「ともに生きる」とは、誰も置き去りにしないことでもある。社会の周縁に追いやられがちな人々を包摂し、すべての人が居場所を持てる社会に近づくために、本をとおしてどんな支援ができるのかについても考える機会にしたい。</p>
16:00	